

グループ成長戦略に係る参考資料

2019年5月

岡三証券グループ

- ・本資料は、当社の経営方針等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ・本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。
- ・本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

グループ成長戦略の確立

既存ビジネス強化との両輪として、

- (1) グループ内での連携
- (2) グループ外とのネットワーク化による
ビジネス展開

- ✓ 既存の証券ビジネスを更に発展
- ✓ 収益の柱となる新ビジネスモデル創造

(1) 構造的に利益を嵩上げする
新たなビジネスモデルの創造

(2) グループ内外でリソース* を活用する
体制の確立

グループ力強化とアライアンスによる収益拡大を図る

*リソース：商品、情報、人材、システム、コンタクトセンター等

(3) デジタルイノベーション

グループリソースのプラットフォーム化

- 各リソースをグループ内外に提供可能とするためにプラットフォーム化
⇒ アライアンス推進、コスト負担緩和

（プラットフォーム化を目指すリソース例）

- ✓ コンタクトセンター
- ✓ 投資情報、商品
- ✓ コンプライアンス対応
- ✓ 証券システム

ビジネスモデル創造への構想（2）

当社グループリソースのプラットフォーム化

- ✓ 既存ビジネスへの寄与、アライアンス推進、コスト負担緩和



- ✓ グループ内外の証券営業の効率化を支援する仕組みづくり
 - ネットやコンタクトセンターの強化、活用により、営業活動のあり方も変革

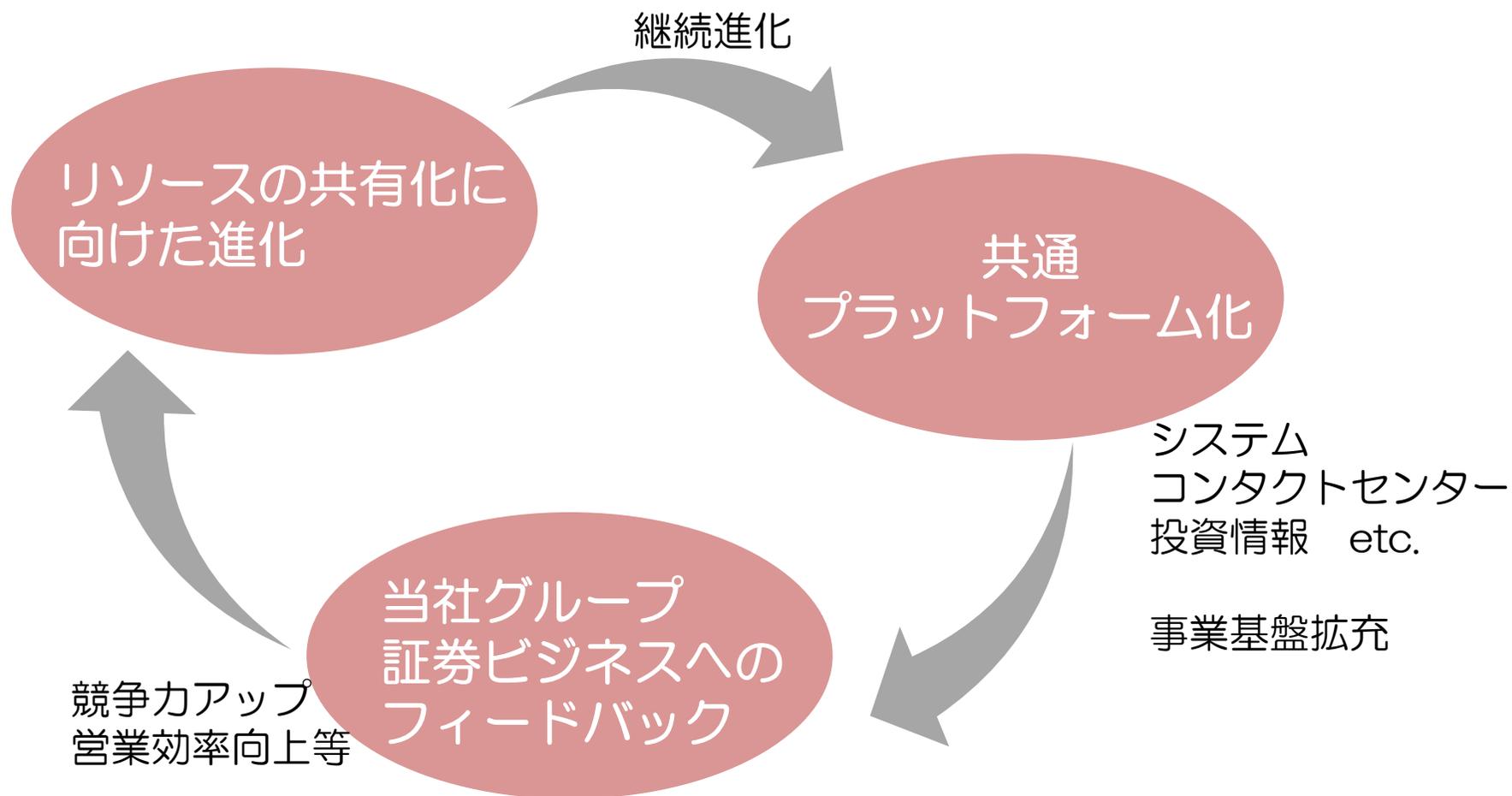


コストセンターの共有化によるコスト削減、
やがてはプロフィット化へ

- ✓ 各リソースを共用可能なプラットフォームとして
グループ内外へ展開
- ✓ 従来のコストセンターからプロフィットセンターへ
収益化を図る

ビジネスモデル構築による成長サイクル

共通プラットフォーム化のために磨き上げたリソースを
当社グループの証券ビジネスのためにフィードバック



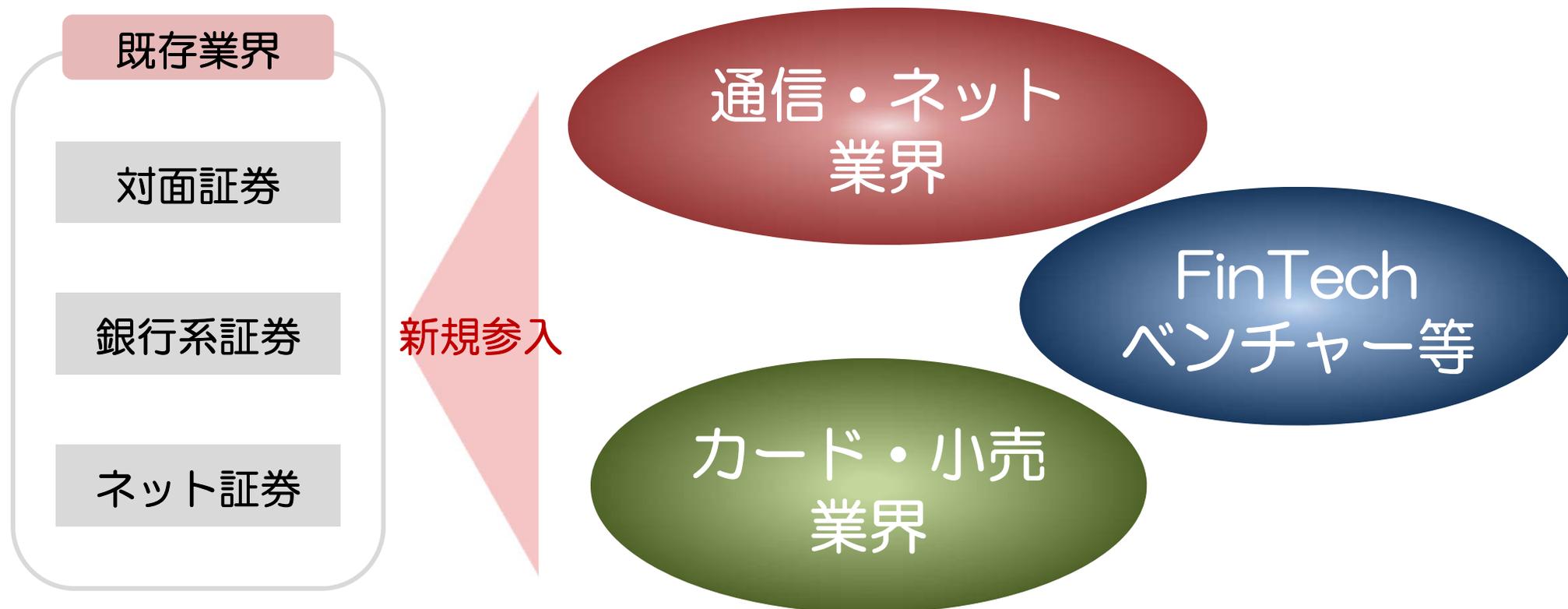
各プロジェクトグループ

プロジェクト名称	目的等
経営調査PG	各種調査に基づく経営戦略立案、他社分析、利益率管理、各PG運営状況管理等
ダイレクト・ビジネス戦略PG	ネットサービス全般のグループ戦略に沿った推進、岡三オンライン証券の再構築等
アライアンス戦略PG	グループ外からの顧客獲得や当社グループのリソース活用に向けたアライアンス推進
ベンチャーキャピタル設立準備室	ベンチャーキャピタル会社設立検討・推進 ⇒ 2018年9月25の会社設立に伴い完了済み
お客さま本位業務運営推進PG	グループ各社におけるお客さま本位業務運営の推進・管理、情報共有等
デジタルイノベーション推進PG	革新的技術の研究・導入推進、グループ外との協働研究でのAI資産管理アドバイスツール開発等
業務改革推進PG	事務合理化、帳票等見直しの推進、業務自動化による生産性向上のグループ全体での推進等
働きがい推進PG	働き方改革に関するグループ各社の人事施策の共有化、支援等
共用コンタクトセンター準備室	2019年4月8日設置。 グループ共用型コンタクトセンター会社の立上げ、インサイドセールス活用等によるビジネス構築

※共用コンタクトセンター準備室以外は2018年6月設置

【ご参考】

激化する異業種からの参入



ネットチャネルの台頭による 顧客ニーズの高度化、多様化

- ✓ ITリテラシーの上昇、顧客のセミプロ化
- ✓ シニア層の取引もネットチャネルへシフト
- ✓ 対面ビジネスは、信頼関係や単に知識だけでなく顧客ニーズに即した応用力が必要



高齢層によるネット取引も
珍しいことではなくなりつつある

- 顧客本位の業務運営への社会的要請
 - ✓ 手数料、信託報酬の低下要因
 - ✓ 顧客利益の追求（共通KPI、顧客損益の明確化）
- 相続に伴う地方から都市圏への資産移転

など

岡三証券グループの証券関連ビジネスリソース

- 対面チャネル… 岡三証券、岡三にいがた証券、三晃証券、三縁証券
- オンラインチャネル… 岡三証券、岡三オンライン証券
- 資産運用ビジネス… 岡三アセットマネジメント
- システム… 岡三情報システム
- バックオフィス… 岡三ビジネスサービス
- 友好証券網… 12社（持分法適用会社含む）

e t c.

証券ビジネスに必要な機能を全て独自で保有

保有機能別証券会社比較

	対面	ネット専業	資産運用 子会社	事務子会社	コール センター	システム
岡三証券グループ	○	○	○	○	○	○
A社	○	×	○	○	○	×
B社	○	×	○	○	○	○
C社	○	×	○	○	○	○
D社	○	×	○	○	○	○
E社	○	○	○	○	○	○
F社	○	×	○	○	○	×
G社	△	○	○	○	○	○
H社	×	○	○	×	○	×

共用コンタクトセンター

- 4月に「共用コンタクトセンター準備室」を設置済み
- グループリソースの最大活用、コスト低減、サービス向上
⇒ グループ各社からの受託体制構築を目指す



2社のカスタマーセンター
（コールセンター）の運営一体化

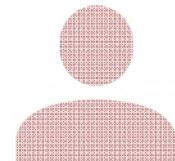
第1フェーズ

センター職員



お客さま

アウトバウンド

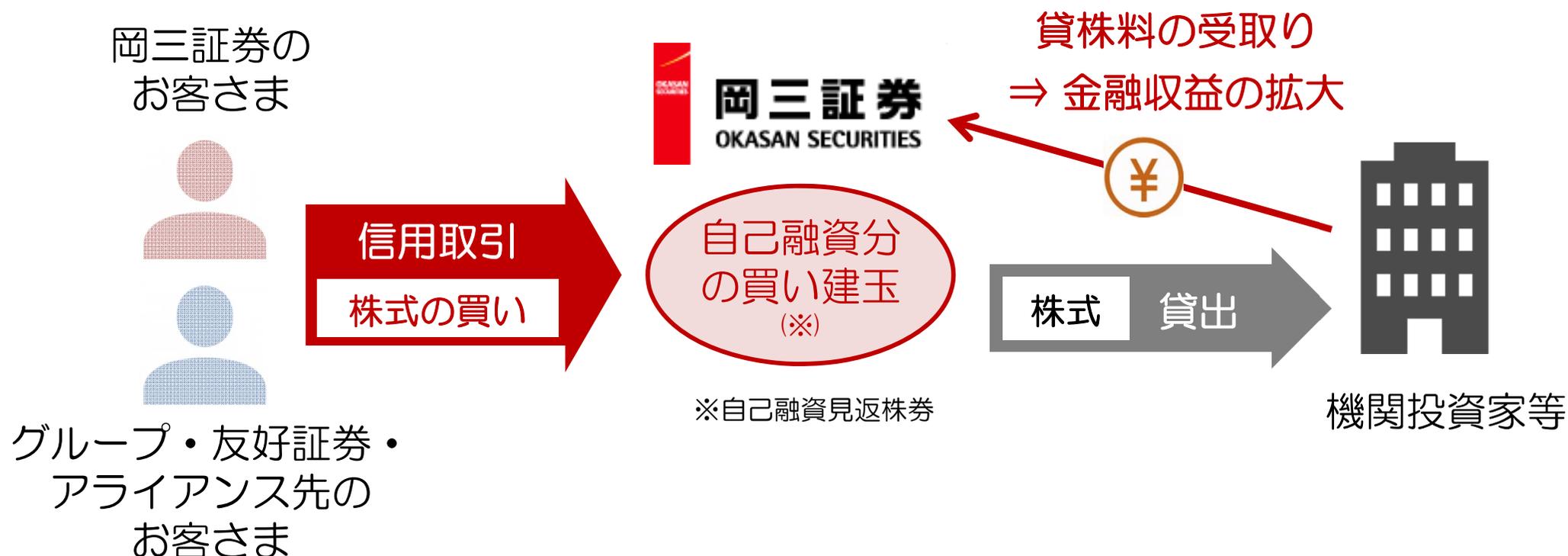


アウトバウンド機能を強化、
収益部門化に向け取組みを本格化

第2フェーズ以降

貸株ビジネス

- ・ レンディング（貸株）ビジネスへの取組みによる金融収益拡大の検討



金融機関とのアライアンス案件（推進中の一部）

- 顧客紹介契約による業務提携
- 資本関係の強化、当社リソースの投入
- コンプライアンス等支援システム、その他システム提供
- 投資情報レポートの提供
- IPO協働、幹事業務支援

- グループ会社の資本政策
 - ✓ 岡三アセットマネジメントの持分増加
 - ✓ グループシナジーの強化を推進

- 投信ビジネスにおけるグループ連携強化
 - ✓ 岡三アセットマネジメントとの連携強化によるグループ収益拡大、フィービジネス拡大

• ベンチャーキャピタル投資

- ✓ 岡三キャピタルパートナーズを通じたベンチャーキャピタル投資
⇒ 新規事業創設、キャピタルゲイン獲得、
オープン・イノベーション推進、
IPO関連ビジネス基盤強化

• デジタルイノベーション

- ✓ AIによるFPツール開発、RPAによる業務自動化など

岡三証券グループ

証券ビジネス

対面
コンサルティング
ビジネスの中核

岡三証券

地域証券会社

岡三にいがた証券
三晃証券
三縁証券

インターネット
ビジネスの中核

岡三オンライン
証券

海外

岡三国際
(アジア)

アセットマネジメント ビジネス

資産運用
商品供給

岡三アセット
マネジメント

ベンチャー
キャピタル

岡三キャピタル
パートナーズ

その他・サポートビジネス

システム開発

岡三情報システム

その他サポート

岡三ビジネスサービス
岡三興業

預り資産

5.1 兆円

口座数

78 万口座

拠点数

92 拠点

投信販売会社数

186 社

アライアンス先
国内外

21 社

システム提供先

14 社

2019年3月末現在

当社グループサービス全体像

「証券」に特化した独自のグループ総合力を発揮し、専門的サービスを提供



株式会社岡三証券グループ

okasan.jp